



**Work  
SMART**



**Aflac  
Diversity**



# 働き方改革「アフラック Work SMART」

2020.9.29  
アフラック生命保険株式会社  
ダイバーシティ推進部  
貫名 萌



## 1.アフラックWork SMART推進

## 2.取り組み紹介

- ① アフラックWork SMARTとは
- ② 時間と場所に捉われない働き方の活用
- ③ 結果

## 3.ニューノーマルな時代に向けて

# アフラックについて



1974年に日本での営業を開始し、日本で初めてがん保険を発売

2018年4月に日本法人化

保有契約

2,447万件  
※ 2019年度

保険料等収入

1兆4,129億円  
※ 2019年度



保険金等支払額

5,491億円  
※ 2019年度

社員数

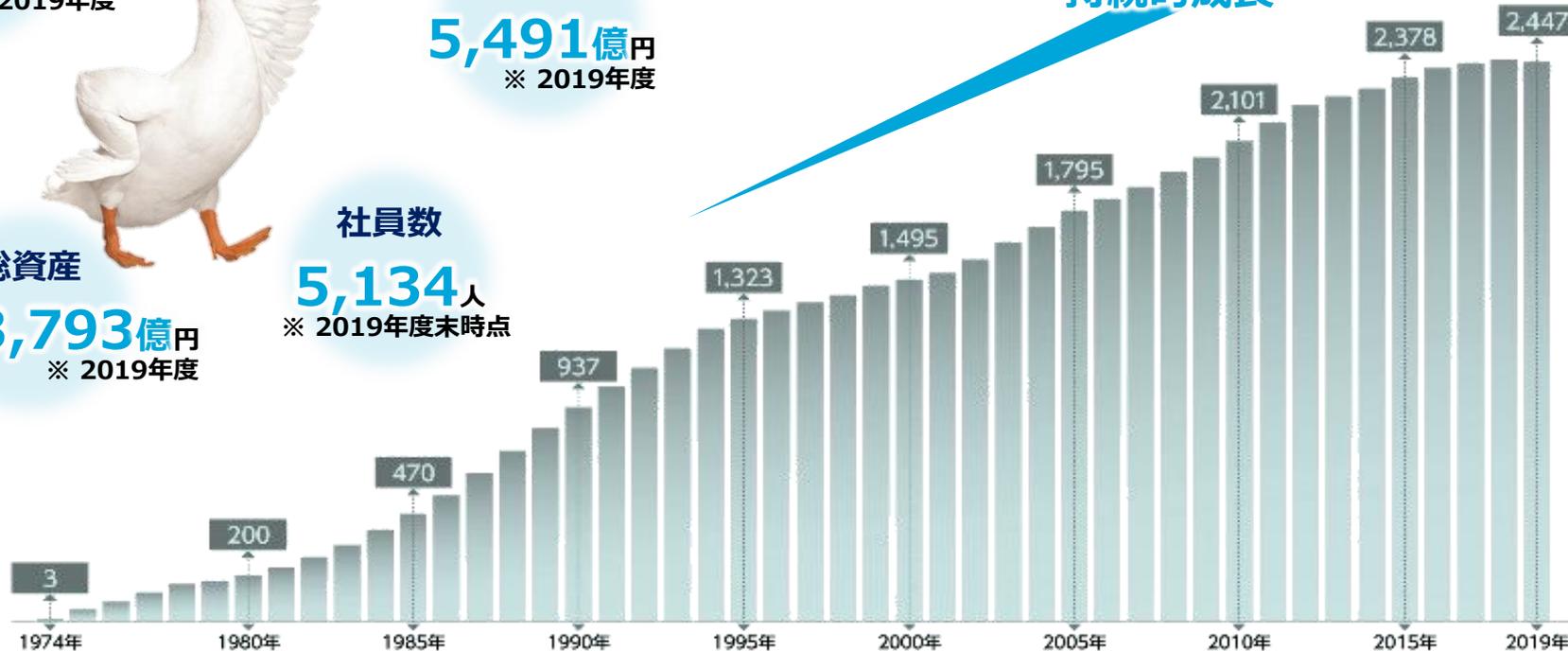
5,134人  
※ 2019年度末時点

総資産

12兆3,793億円  
※ 2019年度

保有契約件数の推移

持続的成長



# イノベーション企業文化の醸成



INNOVATION



**Aflac  
Diversity**

多様な属性や  
価値観を持った人財の活躍



**Work  
SMART**

「Work SMART5原則」による  
生産性の向上と  
ワークライフマネジメントの実現



## 1.アフラックWork SMART推進

## 2.取り組み紹介

- ① アフラックWork SMARTとは
- ② 時間と場所に捉われない働き方の活用
- ③ 結果

## 3.ニューノーマルな時代に向けて

# アフラック Work SMART の目的



Work SMARTは「仕事の進め方の見直し」「時間と場所に捉われない働き方の活用」による組織の生産性向上と、社員のワークライフマネジメントの実践を目指しています。

## Work SMARTとは

仕事の進め方の見直し

時間と場所に捉われない  
働き方の活用

## 目指すこと

組織の生産性  
の向上

ワークライフマネジメント  
の実践

# Work SMART (～仕事の進め方基本指針5原則～)



## Work

### S

See the  
big picture

視野を  
広く持つ

### M

Maintain  
focus

目的を  
考える

### A

Act with  
initiative

自分から  
動く

### R

Respect  
dialogue

対話を  
重ねる

### T

Think  
time-value

時間を  
意識する



## 1.アフラックWork SMART推進

## 2.取り組み紹介

- ① アフラックWork SMARTとは
- ② 時間と場所に捉われない働き方の活用
- ③ 結果

## 3.ニューノーマルな時代に向けて

# 時間と場所に捉われない働き方の活用ステップ



## ステップ1 環境の整備

### 【制度設計】

- 在宅勤務制度の設計
- フレックスタイム制度など柔軟な勤務制度の設計

### 【インフラ整備】

- 在宅勤務用シンクライアント端末配布
- サテライトオフィスの設置 など

## ステップ2 風土醸成

- 柔軟な勤務事例の発信
- テレワークデイズの活用
- テレワーク実施回数数の目標化

# ステップ① 環境の整備（制度設計）



## 在宅勤務制度

会社で働くよりも不便になる **プロセス** は **すべて排除**

対象者の  
制限

回数制限

事前申請

業務制限

終了報告



**「できない」聖域は設けない！**

# ステップ① 環境の整備（制度設計）



## 【フレックスタイム制度】

- 1カ月の労務時間の範囲で社員が出勤時間を自分で決めることが可能
- 一日の出勤時間を「7時～22時」の間で選択可能
- コアタイムの有無を組織単位で選択可能

## 【短時間勤務・シフト勤務】

勤務時間の始業・終業時刻を変更、あるいは実働時間を短縮するなど全10通りから選択できる制度

		勤務時間	休憩	実働時間
シフト勤務	A	午前7時～午後3時	60分	7時間
〃	B	午前7時30分～午後3時30分	60分	7時間
〃	C	午前8時～午後4時	60分	7時間
〃	D	午前8時30分～午後4時30分	60分	7時間
〃	E	午前9時30分～午後5時30分	60分	7時間
〃	F	午前10時～午後6時	60分	7時間
短時間勤務	A	午前9時～午後4時	60分	6時間
〃	B	午前9時30分～午後4時30分	60分	6時間
〃	C	午前10時～午後5時	60分	6時間
〃	D	午前10時～午後4時	60分	5時間

# ステップ① 環境の整備（インフラ整備）



## テレワークツールの整備

- 全部署へシンクライアント端末を配布
- スマホ・タブレット端末から社内システムへアクセス
- 育児・介護中社員へ自宅常備の端末配布
- 産育休中社員へ社内情報にアクセスできるタブレット端末を配布

### シンクライアント端末



### 端末からの社内システムへのアクセス



### 自宅常備端末



# ステップ① 環境の整備 (インフラ整備)



## サテライトオフィスの設置

### 全国9箇所にサテライトオフィスを設置

新宿

丸の内

調布

町田

八王子

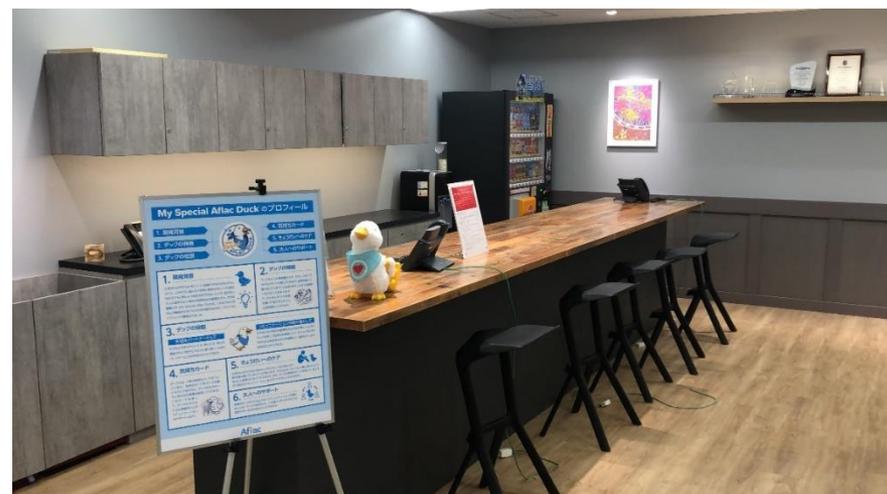
さいたま

横浜

千葉

大阪

### コワーキングルーム写真(新宿)

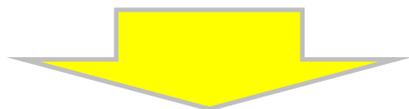


## ステップ② 風土醸成 (テレワークの目標化)

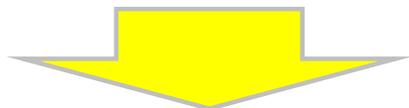


### テレワークの目標化

2016年	● <b>管理職</b> が年間1回以上在宅勤務を実施すること
-------	---------------------------------



2017年～ 2019年	● <b>全社員</b> が年間1回以上在宅勤務を実施すること
-----------------	---------------------------------



2020年	● 全社員が年間1回以上在宅勤務を実施すること ● <b>役員・管理職</b> は <b>月平均1回(年間12回)</b> 以上在宅勤務を実施すること
-------	--

上位役職者が実施すればテレワークは社内に浸透する！！

# ステップ② 風土醸成 (テレワークデイズへの参加)



## 「テレワーク・デイズ」への参加

2017年

対象期間1営業日

**233人**実施

2018年

対象期間5営業日

**1,328人**実施

2019年

対象期間10営業日  
全社において、

**7,745人**実施

※7/22~8/2が対象期間

### テレワーク・デイズ実施風景



サテライトオフィス (左上)  
テレワークのため無人となったオフィス (下・右)



役員のテレワーク

社内イントラでの推進

# ステップ② 風土醸成（柔軟な働き方事例発信）



子どもの急な病気でも、休暇を取得せずに空いた時間で在宅で働くことが可能に！



## メリット

### 従業員

- 子供の急な病気により有給休暇を取得するかどうかを選択することができる
- 急に仕事に穴をあけずに済むため、チームメンバーへの罪悪感がなくなる

### 企業側

- 育児中の社員にも重要な仕事を任せやすくなる
- 急な休暇による、業務管理の問題が減る



## 1.アフラックWork SMART推進

## 2.取り組み紹介

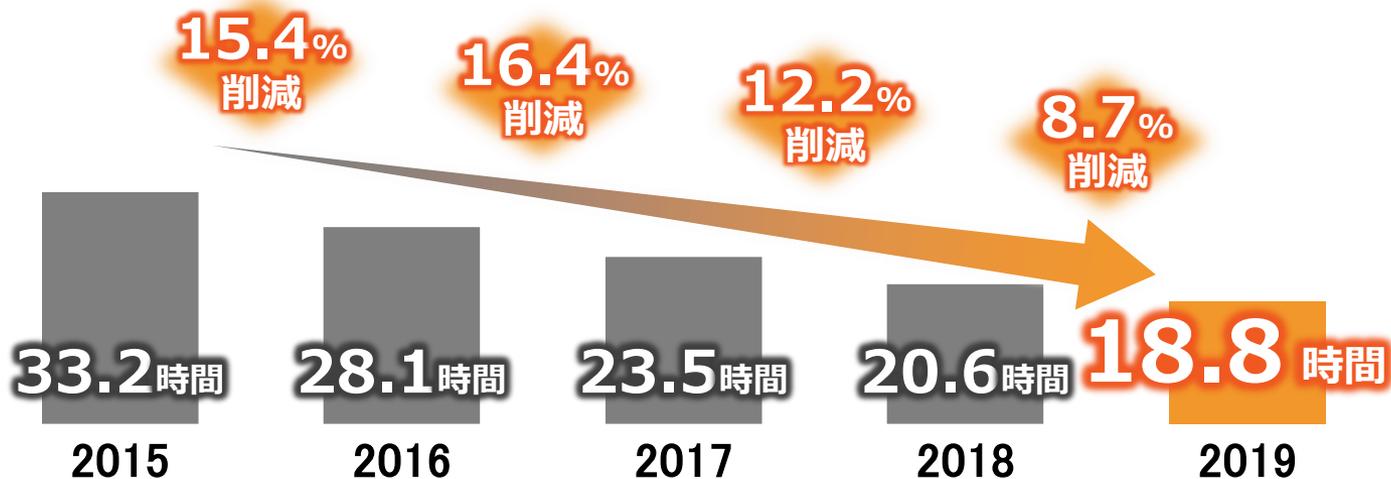
- ① アフラックWork SMARTとは
- ② 時間と場所に捉われない働き方の活用
- ③ **結果**

## 3.ニューノーマルな時代に向けて

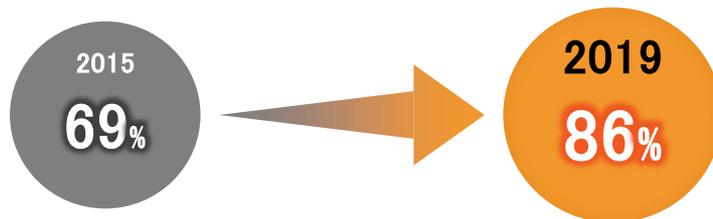
# 働き方改革に関する実績状況

## 所定外労働時間\*の削減

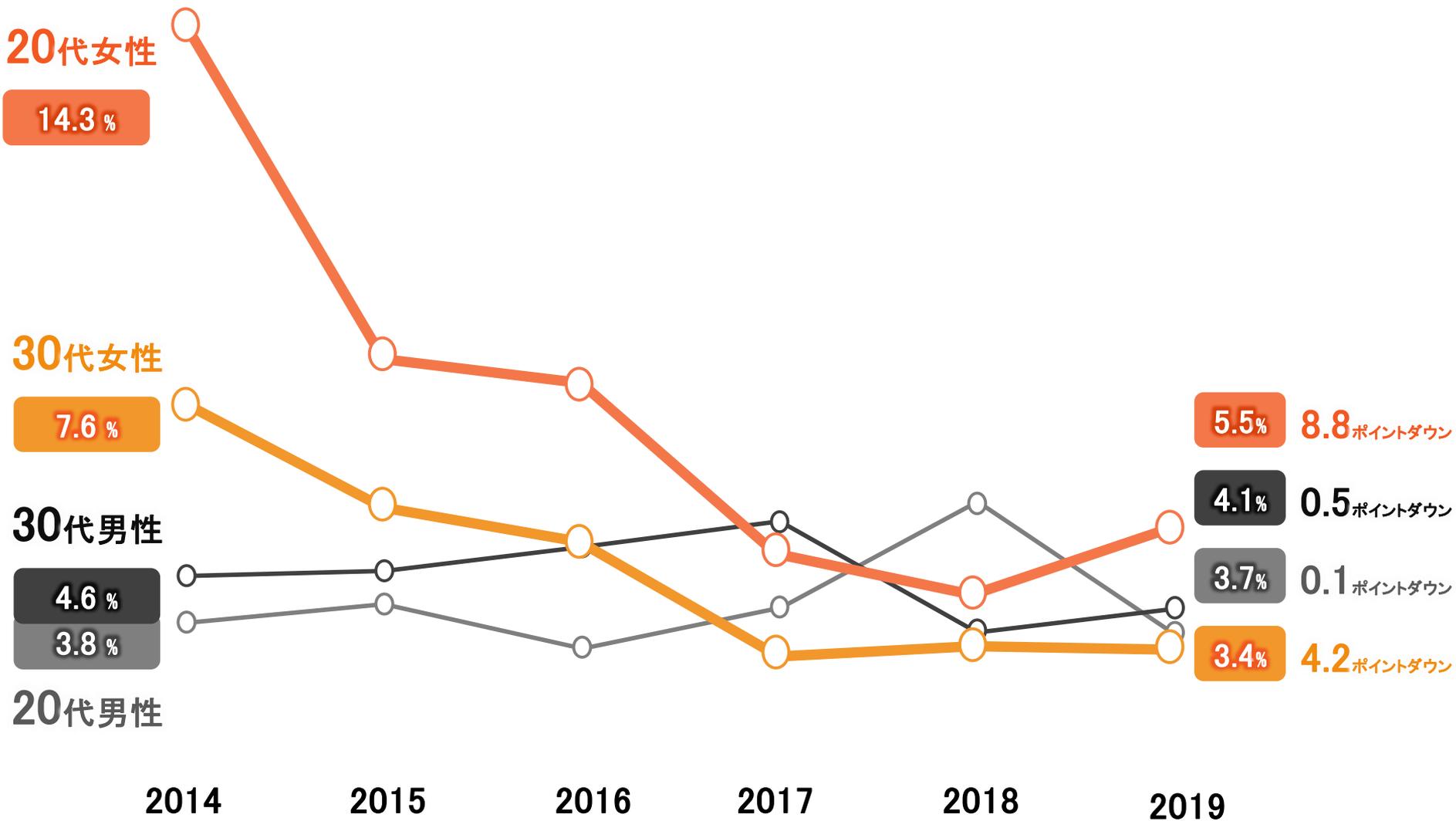
\* 9時～17時



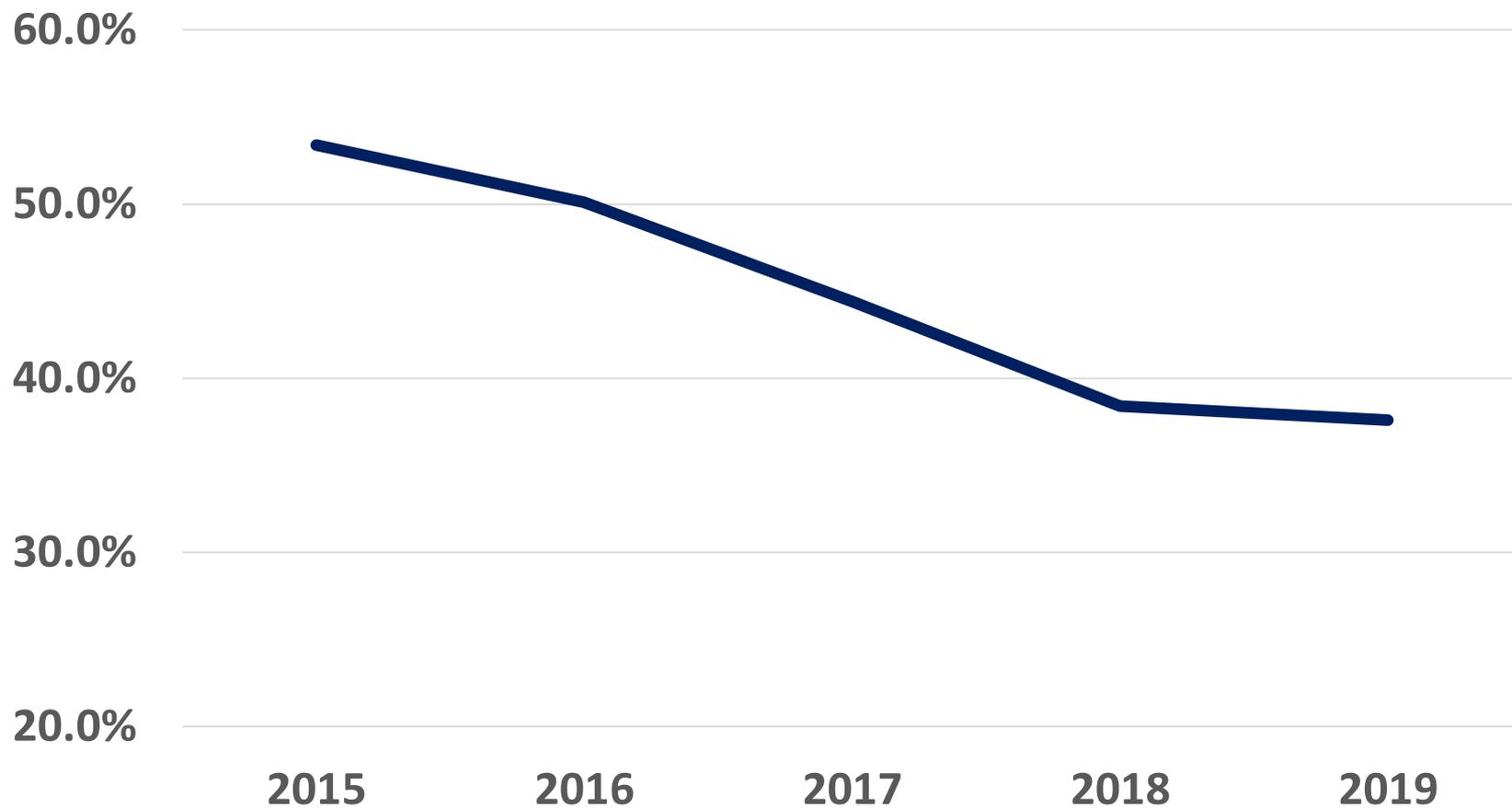
## 有給休暇取得率



# 離職率の推移



# 時短社員比率の推移



# テレワークに関する外部からの評価



## テレワーク推進企業等 厚生労働大臣表彰

2018年11月

「特別奨励賞」受賞

厚生労働大臣表彰

輝くテレワーク賞

## テレワーク先駆者百選

2019年11月

「総務大臣賞」  
受賞





## 1.アフラックWork SMART推進

## 2.取り組み紹介

- ① アフラックWork SMARTとは
- ② 時間と場所に捉われない働き方の活用
- ③ 結果

## 3.ニューノーマルな時代に向けて



# ニューノーマルな時代に向けて

## リモートによる 働き方



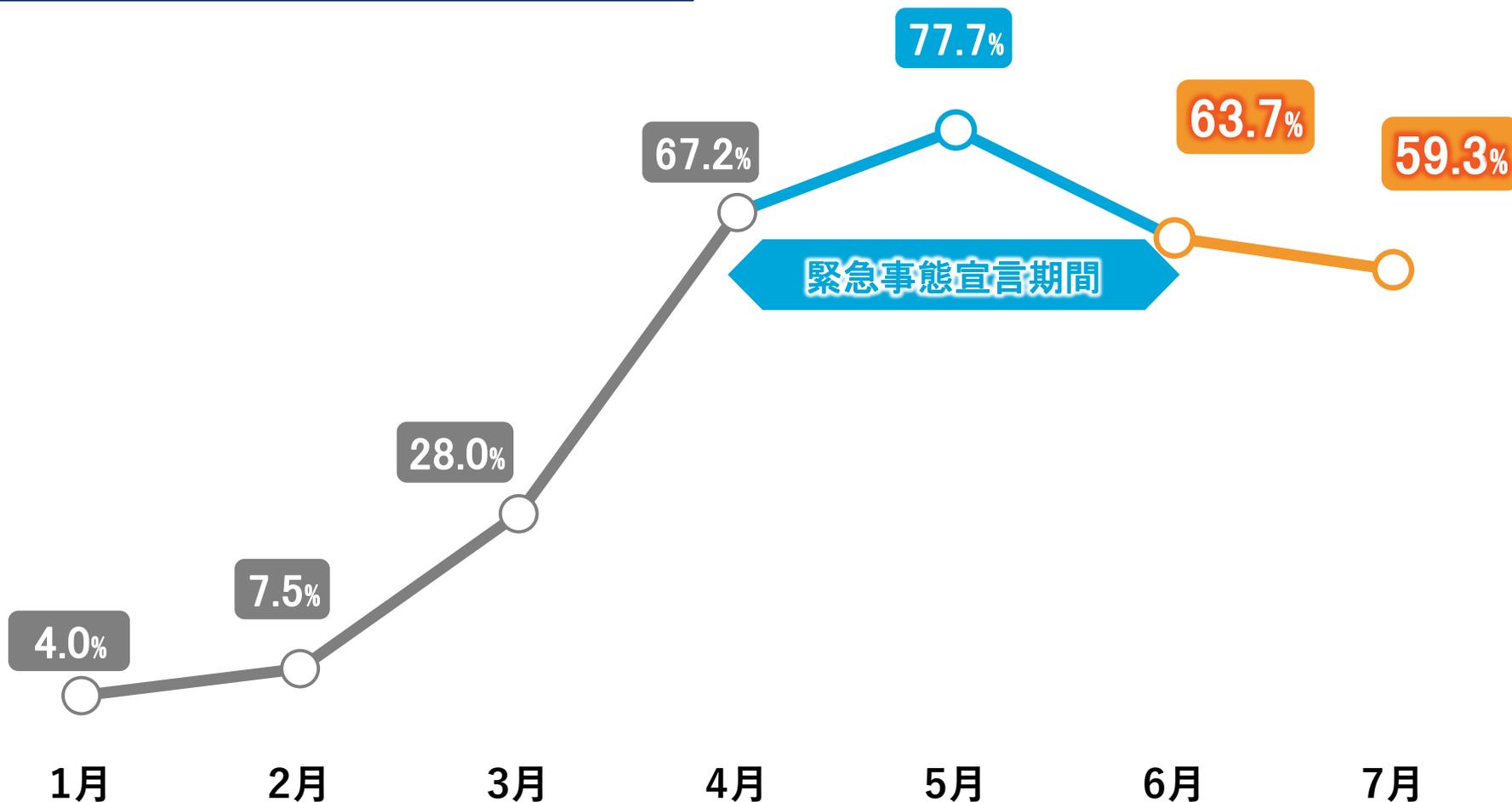
## DX 推進



# 在宅勤務の継続的な実施



## 各月の在宅勤務平均実施率



計算方法：各月の社員一人あたりの平均在宅勤務実施回数/営業日数  
業務委託社員・派遣社員を除く



## ロボットを活用した新たなコミュニケーション



地方勤務社員が  
遠隔地から  
研修に参加

管理職が  
遠隔地から  
業務を指示





## リモートキャリア

都市部の業務を地方に住む社員がリモートで担当  
働く場所にとらわれることなく  
キャリアの選択肢を広げる

札幌



島根

兵庫

東京

大阪

福岡・長崎・宮崎

名古屋



## デジタルツールを活用したWEB面談とオンライン申込

### WEB面談



### オンライン申込手続





## ペーパーレスの推進

**業務で使用される帳票の調査を全社で実施**  
**紙中心であった業務をデータ化することで**  
**ペーパーレスを目指す**  
**3年で完了させる**  
**実行計画を策定**

